



## 花と雑貨とカフェの店 花小径



リースやスワッグなどもショップ内の随所にディスプレイ。インテリアとしての取り入れ方も提案している。ショップの建物自体も避暑地にある一軒家風にして、ほっとできる雰囲気。

実は「花小径」には、多くのフラワーショップにはある生花用の冷蔵庫を置いていない。冷蔵庫に入れば、花をつぼみの状態で長く保つことができ、開花を遅らせることができる。しかし、冷蔵庫で長期間保存すれば当然、花の鮮度は落ちてしまう。

お客様に鮮度の良い花を届けたいというオーナーの強い意向で、あえて冷蔵庫は設置せず、店に置く生花も厳選した良いものを少量だけ置くことにした。そのため、生花などは基本的には事前に注文を受けて、新鮮な花を届けるというシステム。贈答用の花束やアレンジも事前予約を受け付けている。また、「花の定期便」にも対応。自分へのご褒美など、待っていれば届く手軽さが好評だ。

店舗営業は、花がきれいに咲く時期に合わせて3月～6月と、10月～12月の間だけ。生花をはじめ鉢物、観葉植物、ドライフラワー、ガーデニング雑貨などを販売している。雑貨は花を飾るカゴやリースなどが中心で、クリスマスやハロウィンなどはその時期に限定した雑貨も取り揃える。なお、店舗休業期間も花の予約注文は受け付けている。

# 花の魅力に包まれる お洒落なフラワー空間



ショップではフラワーアレンジメントやドライフラワーアレンジ等の教室を「教室や各種イベントも開催」

ショップでは、購入後、鉢物で弱ってしまったもののケアはオーナーが一手に引き受けている。オーナーは鉢物のプロ。元気な状態に回復するまで、ショップで預かりながら面倒をみてもらえるというから安心だ。

草花が最も美しい時期限定でオープンする異色のフラワーショップ「花小径」。その店づくりのこだわりや草花に対する想いを紹介する。



▲レッスンの様子

開講。個別レッスンでもグループレッスンでもOK。レッスンは希望の日時を事前予約。資格取得コースとかはないが、単発予約なので、自分のペースで受講できる。ゆったりとした時間の中で、リラックスして花を楽しめる。受講料は1回4000～6000円程度(材料費込み・入金金不要)。花瓶は持ち込むことができるが、無い場合はショップで用意する。希望があればスワッグ教室も開いてくれる。また、岩倉市生涯学習センターで毎月第4木曜日に活動しているサークル「楽しい寄せ植え」には講師として参加。各種レッスンの詳細は、お気軽にお問い合わせを。

自宅で草花を楽しむ方法やコツを聞いた。

「切り花でしたら花瓶の水を毎日替えるほかに、茎の先を毎日1センチくらい切って、切り口を新鮮にすることで



▲選び抜いた鮮度抜群の生花たち

### 提案型のフラワーショップを

岩倉市下本町を流れる五条川のすぐ近くに、花の楽しみ方や、暮らしへの取り入れ方を提案するフラワーショップ「花小径」がある。ウッディな外観は、「見ると洒落たカフェやレストランのような趣。ショップ内は生花やドライフラワー、グリーンたちが雑貨とともに壁や梁にも素敵にディスプレイされ、アート感漂う空間が広がっている。

「花小径」がオープンしたのは1998年3月。花の販売だけではなく、花を楽しむ方法を提案する新しい形態のフラワーショップとしてオープンした。時代のトレンドやニーズに合わせて、ショップの運営スタイルが多様化する中、フラワーショップにも今までにあまりない提案型を主とした店があってもいいのではないかと考えたからだ。

運営を取り仕切る店長の田中文字子さんは、オーナーとともにショップの立ち上げから関わってきた。花が大好きで20代の頃は趣味でフラワーアレンジメントを学び、花小径オープン前は生花店に勤務。働きながら勤務先で開講されていたフラワーアレンジメントとドライフラワーのプロ養成コースを修了し、フランスで花の研修も受けた。生花とフラワーアレンジメントのエキスパート的な存在だ。



▲花小径 店長 田中文字子さん

長く持たせることができます。飾る際の組み合わせは、花だけでなく葉物を入れるのがポイント。グリーンがあることで、花色もより鮮明に映え全体のバランスもとよりやすくなります。

鉢物の草花は、日なたや半日陰など、その草花の栽培に適した環境や水やりの頻度、植え替えの時期などを細かく教えてもらえる。

ショップが地域の交流拠点になればと、イベント企画にも取り組んでいる。店舗休業期間には、レンタルスペースとして貸し出し、イベントやマルシェに活用してもらい、最近ではマッサージュやアークセラピー作りのワークショップなども開催した。

カフェコーナーでは、コーヒーや紅茶のほか、レモンガラス、カモミール、ハイビスカスなどのハーブティーを楽しむことができる。委託先の美味しいフルツケキが置いてある日もあり、ドリンクとセットでティータイムを満喫するのもおすすめ。

落ち着いた佇まいの中で美しい草花に囲まれていると、慌ただしい日常をふと忘れてしまう。そんな雰囲気漂う「花小径」で、時にはゆっくりと花を愛で、花の魅力に触れてみてはいかが。



▲香り豊かな「ハーブティー」はカモミールとハイビスカスをあわせ計4種(各450円)。国産小麦・米粉使用の「フルーツケーキ」はラム酒に漬けたドライフルーツやナッツ入りで、ハーブティーにピッタリ♪

日常生活に溶け込み、心豊かにするツールとして欠かせないものになっていることを改めて実感させられました。残念ですがヨーロッパなどに比べると、日本では暮らしの中で花を楽しむという文化が定着しているとはいえません。私は、日本の人たちにも花の楽しみ方を伝え、一人でも多くの人に花を好きになつてもらえる店づくりをしたいと思つて、この店の運営に関わってきました」と田中さん。

ショップのコンセプトから運営スタイル、店内のデザインなど、オーナーとともにこれから考えながら「花小径」をつくり上げてきた。

### 花のある暮らしをイメージ

ショップのコンセプトは「花と遊ぶ暮らしの提案」。そのため、花と遊び、花を楽しむ暮らしをイメージしてもらうための空間づくりがこだわった。店内にカフェコーナーを設けたのも、そのため。椅子に座ってくつろぎながら花を眺め、家などの場所に、どの花を、どのように飾ろうかを、ゆっくりと考えてもらいたかったからだ。



▲エステイベントの様子

**花小径 information**

【所在地】岩倉市下本町真光寺247  
 【営業時間】10:00～17:00 【定休日】木・日曜  
 【営業期間】3月～6月、10月～12月  
 【TEL】0587-37-4568

【Instagram】 

【LINE】 



